



明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第80号 平成21年9月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



大洞地域 休耕田湿地の保全活動（9月12日）

- ・休耕田湿地の草刈り 下刈り機に挑戦！！
- ・希少植物を守り育てています

○休耕田湿地の草刈り 下刈り機に挑戦！！

9月12日（土）に「硯石の自然を愛する会」の皆さんが、大洞地域の休耕田湿地の保全活動を行いました。この日は、9月に入ってほとんど雨が降らなかった中、久々の雨の日の活動となりました。

日頃から地道に休耕田湿地周辺の草刈りに取り組んでいるものの、雑草の生長にはなかなか追いつけません。そこでこの度、下刈り機を導入し、作業効率を一気に高めることにしました。

機械は便利な反面、使い方を誤れば大ケガをする危険があります。そこで、経験者からエンジンのかけ方に始まり、取り扱いの注意、絶対にしてはいけないことなど、様々な注意事項の説明を受け一同で確認してから、それぞれ練習してみました。



下刈り機の注意事項を確認しました



除草活動



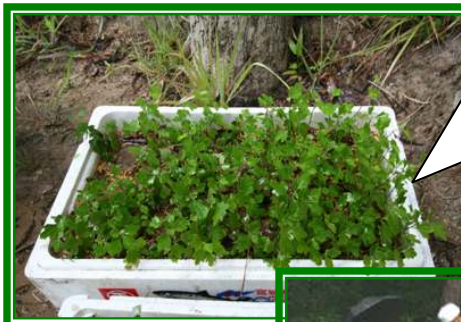
整備をする前と後では大きく景色が変わります。この変化が、湿地の環境を大きく改善します。

○希少植物を守り育てています

また、夏の間に関地で挿し木しておいたキキョウやリュウノウギク、リンドウ、サワギキョウといった植物の苗をポットに移し替えて、移植の準備を行いました。これらの植物はかつて大洞ではよく見られたものばかりですが、今となつては貴重なものばかりです。参加者は、一つ一つの苗を丁寧に移し替え、これからの植え付けを楽しみにされていました。

しかし、これらの貴重な苗を大切に育てても、移植に適した環境がなければ意味がありません。そこで、湿地に侵入したノリウツギなどの樹木の除去作業も合わせて行いました。樹木の侵入をそのまま放置すれば、徐々に乾燥化が進み湿地環境が減少します。

とても手間のかかる活動ですが、減少しつつある希少植物の自生地を回復するには、このような一連の作業が必要なのです。



現地に生育するキキョウやリュウノウギク、リンドウ、サワギキョウの苗を育てています。育つた苗はポットに分けて更に大きく育て、現地への移植を待ちます。



休耕田湿地に繁茂する草や株立ちをしたノリウツギを刈り取りました。



湿地にはサワギキョウ、オミナエシなどが見られました

○おわりに

「硯石の自然を愛する会」の皆さんは地域の自然を守るためには何をすべきか、また、その活動を楽しむための工夫について考え、新たなことにも挑戦しています。限られた人員で様々な活動に取り組むのは大変なことですが、参加者の地元の里山を愛する気持ちが、大洞の豊かな自然を支えているのです。

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ：<http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>